

新公会計制度 財務諸表

本県では、一般会計及び特別会計を対象として、複式簿記・発生主義に基づく新公会計制度を導入し、日々の会計処理の段階から1件1件複式簿記の仕訳を行うことにより、より精緻な決算財務諸表を作成・公表しています。2024年度財務諸表のうち、一般会計特別会計各会計(一般会計及び11特別会計)を合算した貸借対照表及び行政コスト計算書は以下のとおりです。

なお、キャッシュ・フロー計算書及び純資産変動計算書や、より詳細な金額等については、愛知県ホームページをご覧ください。(総務省「統一的な基準」による財務書類についても、ホームページに掲載しています。)

■一般会計特別会計各会計合算財務諸表(2024年度)

貸借対照表 2025年3月31日現在

(単位 億円)

科目	2024	2023	増減	科目	2024	2023	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	5,184	4,083	1,101	流動負債	3,514	3,896	△ 382
現金預金	1,021	802	219	一年以内償還予定地方債	2,946	3,363	△ 417
未収金	171	169	2	一年以内償還予定長期借入金	-	-	-
不納欠損引当金	△ 34	△ 35	0	未払金	89	81	9
基金	3,933	3,049	884	還付未済金	11	11	1
短期貸付金	95	99	△ 4	賞与引当金	463	437	25
貸倒引当金	△ 2	△ 1	△ 1	その他流動負債	5	5	△ 0
固定資産	82,557	81,141	1,415	固定負債	55,682	55,844	△ 162
事業用資産	21,517	20,926	591	地方債	51,335	51,467	△ 133
インフラ資産	43,067	43,059	8	長期借入金	-	-	-
物品	251	251	△ 0	長期未払金	340	407	△ 67
投資その他の資産	17,721	16,904	817	退職手当引当金	3,848	3,814	34
投資及び出資金	6,093	6,027	66	損失補償等引当金	159	156	3
投資損失引当金	△ 8	△ 8	0				
破産更生債権等	11	12	△ 0	負債の部合計	59,195	59,740	△ 545
基金	10,643	9,861	783				
長期貸付金	981	1,011	△ 31	純資産の部			
その他債権等	38	39	△ 0	純資産	28,546	25,484	3,062
貸倒引当金	△ 38	△ 37	△ 1	純資産の部合計	28,546	25,484	3,062
資産の部合計	87,741	85,224	2,517	負債及び純資産の部合計	87,741	85,224	2,517

行政コスト計算書

2024年4月1日～2025年3月31日

(単位 億円)

科目	2024	2023	増減
経常収益	31,223	28,665	2,559
地方税	14,971	13,248	1,723
地方消費税清算金	3,828	3,634	194
地方譲与税等	1,950	1,547	403
地方交付税	1,564	1,251	314
分担金及び負担金	2,156	2,125	31
使用料及び手数料	482	481	0
国庫支出金	4,066	4,265	△ 199
交付金等(特別会計)	1,596	1,657	△ 61
受取利息及び配当金	54	31	22
その他経常収益	557	425	131
経常費用	28,137	27,795	341
県税清算金及び交付金	6,122	5,788	334
給与関係費	5,510	5,291	219
物件費	1,491	1,385	106
修繕費	346	313	33
社会保障給付費	243	232	11
補助金等	11,683	12,130	△ 447
繰出金	137	139	△ 2
減価償却費	1,388	1,402	△ 14
引当金繰入額等	886	790	97
支払利息及び手数料	329	325	4
その他経常費用	0	1	△ 1
経常収支差額	3,087	869	2,218
特別収益	37	34	3
特別費用	62	74	△ 12
特別収支差額	△ 25	△ 40	15
当期収支差額	3,062	829	2,233

【貸借対照表】

2025年3月31日現在の資産の総額は8兆7,741億円、負債の総額は5兆9,195億円、純資産は2兆8,546億円で、資産に対する純資産の割合は32.5%となっています。

前年度と比較すると、資産は2,517億円増加、負債は545億円減少、純資産は3,062億円増加しました。

<県民1人当たりの貸借対照表>

人口：7,483,755人

(2025年1月1日現在住民基本台帳人口)

資産：117万円、負債：79万円、純資産：38万円

【行政コスト計算書】

通常の行政サービスを提供するための財源を表す経常収益は3兆1,223億円、その提供に要した費用である経常費用は2兆8,137億円、特別収益は37億円、特別費用は62億円であり、当期の収支差額は3,062億円となっています。

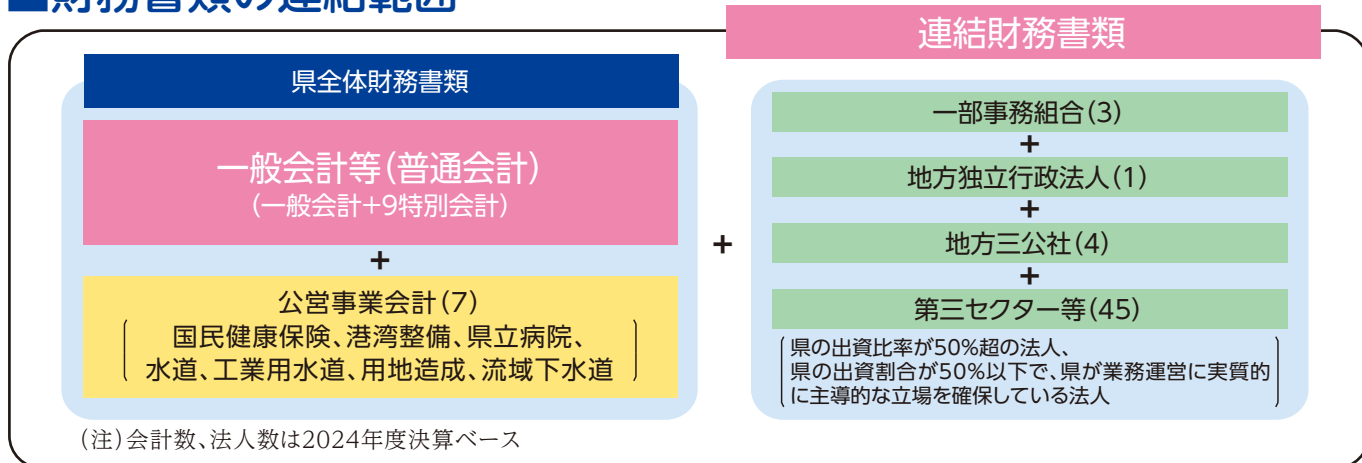
前年度と比較すると、経常収支差額が2,218億円増加し、特別収支差額が15億円増加したことにより、当期収支差額は2,233億円増加しました。

(注) 32 頁の財務諸表及び 33 頁の財務書類は、各項目とも表示単位未満を原則四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある。また、数字を表す欄において、「-」は金額が存在しないもの、「0」は四捨五入した結果、表示単位に満たなかったものを表す。

■ 県全体及び連結財務書類

一般会計等(普通会計)に公営事業会計を加えた県全体の財務書類や、県全体の財務書類に県と連携協力して行政サービスを実施している関係団体の会計を加えた連結財務書類については、総務省「統一的な基準」により作成・公表しています。詳細は愛知県ホームページをご覧ください。

■ 財務書類の連結範囲



■ 県全体及び連結貸借対照表(2024年度)

		県全体	連結
資産	a	7兆9,844億円	9兆4,046億円
負債	b	6兆6,976億円	7兆1,426億円
純資産	a-b	1兆2,868億円	2兆2,620億円

(注) 総務省「統一的な基準」では、県が管理している国道や一級河川等の国有資産は、資産に計上しないこととされている。(これらの国有資産について、県が建設費や維持管理費を負担し、整備等に要した経費に充当した地方債は負債に計上されている。)
なお、県が取得から維持管理を行っている国有資産の帳簿価額1兆9,259億円を資産に加えると、連結財務書類の純資産は4兆1,879億円となる。

■ 県全体及び連結行政コスト計算書(2024年度)

		県全体	連結
経常費用	a	2兆9,278億円	3兆804億円
経常収益	b	1,997億円	3,732億円
純経常行政コスト	c=a-b	2兆7,280億円	2兆7,072億円
臨時損失	d	56億円	84億円
臨時利益	e	4億円	10億円
純行政コスト	c+d-e	2兆7,333億円	2兆7,146億円

(注) 総務省「統一的な基準」では、税金や国庫支出金等を行政コスト計算書の経常収益に計上せず、純資産変動計算書の財源に計上することとなっている。

一般会計等(普通会計)

個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なることを踏まえて、各地方公共団体の財政状況の把握、地方財政全体の分析等に用いられる統計上、概念上の会計であり、全国統一の基準をもって各地方公共団体の会計を統一的に再構築したものです。

その範囲は、一般会計を中心として、公営事業会計を除く特別会計(本県では9特別会計)を加え、重複額を控除して、合算したものです。

公営事業会計

地方財政法等の規定により、特別会計を設けてその経理を行わなければならない公営企業や事業に係る会計です。(本県では、企業会計、国民健康保険事業特別会計及び港湾整備事業特別会計)